



公益財団法人
青山音楽財団
AOYAMA MUSIC FOUNDATION
KYOTO, SINCE 1990

若き音楽家たちによる 音の祭典

～第10回 奨学生成果披露演奏会～



Vol.1

3.11²⁰²³
|土|

Vol.2

3.12²⁰²³
|日|

Vol.3

3.19²⁰²³
|日|

各 15:00 開演 (14:30 開場)

会 場 / 京 都 青山音楽記念館 バロックザール

主 催 : 公益財団法人 青山音楽財団 後 援 : 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会

感染症予防にご協力ください。

- ・会場内では常時マスクの着用をお願いいたします。咳エチケットの実践にご協力ください。館内では、出来る限り会話をお控え下さい。また、プラボーなどのお声がけはご遠慮ください。
- ・休憩時や退場時には、お客様同士の距離を確保しての行動をお願いいたします。出演者との面会・サインはお断りいたします。

気持ちよくご鑑賞いただくために。

- ・写真撮影・録音・録画はお断りいたします。携帯電話の電源、時計のアラームはお切りください。補聴器をご利用のお客様は発信音が出ないよう、お取り扱いにご注意ください。
- ・またお手回り品など音の出るものの取り扱いはご遠慮ください。客席での飲食はお断りいたします。

ご挨拶

本日は「第10回 奨学生成果披露演奏会～若き音楽家たちによる音の祭典～」にお越しいただき誠にありがとうございます。

今年度は、11大学から45名の優秀な学生を推薦いただきました。ご協力賜りました11大学の先生方、関係者の皆さま方には深く御礼申し上げます。

また、数年ぶりに一般のお客様もお招きして奨学生成果披露演奏会を開催できる運びとなったことを嬉しく思います。

この演奏会は、様々な分野の奨学生が1年間学んだ成果を披露するもので、その熱演に好評をいただいております。今年も3日間に渡り、フレッシュな魅力溢れる演奏をお届けいたします。彼らが情熱を傾けて磨いてきた演奏技術を存分に発揮し、この場で切磋琢磨し成長することを心から願っております。

皆さまには、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う新しい生活様式の中で、工夫を重ねながら研鑽を続けてきました将来を嘱望される若き音楽家たちを、温かくご支援くださいますよう宜しくお願いいたします。

青山音楽財団は、微力ではありますが、日本の音楽文化の発展を目指し、これからも若い音楽家たちの育成や支援に努めて参ります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 青山音楽財団 理事長

青山敦

本日は、お忙しい中、ご来館頂き誠に有難うございます。

青山音楽財団は、故青山政次氏より寄贈された青山音楽記念館 バロックザールを管理・運営し、音楽文化の普及、発展に寄与すると共に、将来を担う若い音楽家を支援する事を目的として設立され、その理念に沿って数々の事業を行って参りました。

2011年、公益財団法人への移行を機に、新たに「育成支援事業」を立ち上げました。奨学金事業はその一つとして発足させたものです。本年度は、指定大学11校から45名の大変優秀な学生達を青山音楽財団奨学生として推薦して頂きました。「若き音楽家たちによる音の祭典」は奨学生たちが1年間に学んだ成果を披露する場であり、次代を担う若者たちのフレッシュな熱演をお楽しみ頂ける機会でもあります。

不断の精進が大切である事は言うまでもないことですが、聴衆を前にしての「本番」が、日々の練習からだけでは得ることの出来ない何かを体験する、表現者として成長する為に必須の貴重な機会であることは、広く知られているところでございます。

真に優れた芸術家は、数多くの上質な聴衆に育まれる事に依って生まれるものである事を、私は確信しております。

聴衆の皆様には、何卒、まだ若い芸術家の卵たちを温かく、又、厳しく見守り育てて頂きますようお願い申し上げますと共に、今後とも青山音楽財団に対しご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

公益財団法人 青山音楽財団 育成支援事業選考委員会 審査委員長

岸邊 百百雄

Vol.1 2023年 3.11 |土| 15:00開演

1. なかむらりの 中村 梨乃 (京都市立芸術大学3年) / ピアノ

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を卒業。第4回ベートーヴェン国際ピアノコンクール 第2位、並びに 相模湖交流センター賞 受賞。第25回松方ホール音楽賞 本選入選。第22回大阪国際音楽コンクール 一般部門 Age-G 第3位。これまでに、毛利浩子、大富栄里子、阿部裕之の各氏に師事。



シマノフスキ：《仮面劇》作品 34 より 第3曲 ドン・ファンのセレナード

1914年に、シマノフスキは戦争の影響で故郷に避難し、《仮面劇》作品34を作曲しました。本日演奏する作品34の第3曲目は、文学作品『ドン・ファン』から着想を得ています。この作品は、非常に劇的でコントラストに富み、踊りのリズムと、表情豊かな叙情的なメロディーが対峙し、最後は華やかに幕を閉じます。

2. しのはらともか 篠原 智香 (愛知県立芸術大学4年) / ヴァイオリン

名古屋市立菊里高等学校音楽科を卒業。第71回全日本学生音楽コンクール名古屋大会高校の部第3位。第28回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。第5回若い芽の弦楽アンサンブルアカデミーin軽井沢に於いて選抜受講生コンサートに出演。これまでに吉野淳子、渡辺玲子、平田文、植村太郎、小林美恵各氏に師事。



R. シュトラウス：ヴァイオリンソナタ 変ホ長調 作品 18 より 第1楽章 ピアノ：奥田 琉花(愛知県立芸術大学4年)

この曲はR. シュトラウス(1864-1949・ドイツ)が24歳の時、自身の作風を古典派的な絶対音楽から交響詩やオペラへと移行する、まさに転換期に書いた作品である。後に妻となるソプラノ歌手パウリーヌ・ド・アーナと出会った年に作曲され、若き日のR. シュトラウスの情感が込められている。

3. みくりやまどか 御厨 円香 (相愛大学4年) / ソプラノ

相愛高等学校音楽科卒業。現在、相愛大学音楽学部音楽学科に特別奨学生として在学中。同大学内オペラ公演《ヘンゼルとグレーテル》《コジ・ファン・トゥッテ》《魔笛》に出演。第9回横浜国際音楽コンクール声楽部門中学の部第1位、第27回日本クラシック音楽コンクール高校の部全国大会入選。泉功子氏、泉貴子氏に師事。



モーツァルト：歌劇《魔笛》より「ああ、愛の喜びは露と消え」

レオンカヴァッロ：あなたの視線の中に

プッチーニ：歌劇《つばめ》より「ドレッタの美しい夢」

ピアノ：高木 理枝子(相愛大学演奏助手)

1曲目：パミーナはようやく探していたタミーノに出逢うが、沈黙の試練に耐えている彼は話すことができない。その絶望を歌う。2曲目：美しいピアノの旋律と共に、情熱に満ちた詩が愛を語っている。3曲目：19世紀パリ。サロンの女主人マグダが、架空の人物ドレッタに自分の愛への憧れを託して歌う場面である。

さいとう かこ
4. 齋藤 華香 (東京藝術大学4年) / フルート

名古屋市出身。第69、70回全日本学生音楽コンクール全国大会第1位。部を跨いで2連覇。第17回仙台フルートコンクール一般の部第2位。第33回日本木管コンクール第1位、聴衆賞。その他多数入賞。NHKFM「リサイタル・ノヴァ」に出演。ソリストとして神奈川フィル、名古屋フィル、愛知室内、藝大フィルと共演。大西圭子、上野星矢、上野由恵、高木綾子各氏に師事。



©Ayane Shindo

アンデルセン：バラードと空気の精の踊り 作品5 ピアノ：望月 晶(桐朋学園大学大学院1年)

J.アンデルセンはデンマークに生まれ、フルーティスト、指揮者、作曲家として劇的な生涯を送った。彼の作曲したエチュードはショパンに並ぶものがあると高く評価され、「フルートのショパン」と呼ばれている。前半は物悲しく昔を懐かしむかのようなバラード、後半は空気の精シルフの軽やかなダンスが縦横無尽に跳ね回る様子が描写されている。

すずき ちはる
5. 鈴木 千遥 (東京藝術大学3年) / 作曲

北海道札幌市出身。幼少よりヴァイオリンを、高校入学後本格的に作曲を学び始め、現在東京藝術大学音楽学部作曲科3年在籍中。これまでにヴァイオリンを三浦聡美氏、作曲、理論を谷津祐子氏、南聡氏、市川景之氏に師事。現在作曲を鈴木純明氏に師事。



鈴木千遥：Prelude VI poco a poco ... ピアノ：鷹羽 咲(東京藝術大学3年)

曲は3部で構成される。第1部は、最高音の同音連打によって始まり、次第に音域を広げながら音形を繰り返す。第2部、繰り返される音形は解放され不規則となる。それに伴い冒頭から安定したパルスは崩壊する。第3部、和音の強打によって残響が鳴る。この曲の最初の目的は88鍵の音域を管理することにあった。本作では、88鍵をそれぞれ音域の異なる(低音域に進むにつれて音域が広がるような)11のグループに分割した。各グループの持続は同じであるため、音楽の密度が変化する。その変化は、背景にある数字の緩やかな交換によって行われる。本作は私の作曲法実験シリーズの第6弾にあたる。今回は88個のスイッチに挑む。

… 休憩 …

さいとう こういち
6. 齋藤 浩一 (京都市立芸術大学4年) / 音楽学

大学では池上准教授のゼミ(西洋音楽史)に所属し、20世紀以降のロシア・クラシック音楽史を研究している。2020年8月、コラム「ロシアとコロナ禍」が日本ユーラシア協会機関紙「日本とユーラシア京都版」に掲載。2021年度勤労学生援助会表彰学生、22年度藤澤記念財団音楽奨学生。



アルトゥール・ルリエー：ソプラノとピアノのための『日本組曲』

I. La cigale chante II. Cerisiers en fleurs III. Amour IV. Printemps

ソプラノ：玉置 彩音(京都市立芸術大学大学院修士課程声楽専攻修了) ピアノ：小濱 祥歩(京都市立芸術大学4年)

歌曲のテキストは、A.ラチンスキーによりロシア語訳された『日本の詩』(1914)という詩歌集から取られている。この翻訳書は当時ロシアの芸術家達に広く読まれ、ルリエーもその一人だったわけだが作曲の経緯は不明である。本楽曲の大きな特徴は、「不協和」と「美術的発想」と言える。前奏から神秘的で妖艶な不協和音による進行が目立ち、それが東洋的な旋律と合流するが、やはり伴奏との間に不協和音が生じる。これは近接音の積み重ねとズレによるものである。彼は、構築性を曖昧にした新たな音空間を拡張させ、聴き手の聴覚的な遠近感をも無効化させてゆく。本来ならば季節の流れを重視する和歌(テキスト)も順不同に配置されており、当時美術界で流行していた技法、「コラージュ」や「キュビズム」を意識的に取り入れたことが窺える。ロシア・アヴァンギャルドを代表する作曲家、ルリエーらしい美術的な作曲技法と、西洋と東洋の不協和が織りなす歌曲である。

ふじた かいと
7. 藤田 魁人 (東京藝術大学4年) / バス

現在、東京藝術大学大学院に在籍。3年次の後期実技試験において首席に選ばれ、安宅賞を受賞。声楽を近藤恵子、岡田尚之、甲斐栄次郎の各氏に師事。



メンデルスゾーン：オラトリオ《エリヤ》作品70より「山々は移り、丘はくずるとも」

チマーラ：ストルネッロ

マスネ：歌劇《エロディアド》より「はかない幻」

ピアノ：石田 千飛世(東京藝術大学 作曲科4年)

「山々は移り、丘はくずるとも」イスラエルの人々に神の言葉を伝えに向かうエリヤが、主への信仰を告白するアリオーゾ。「ストルネッロ」繊細なピアノとレチタティーボ的なメロディが織り成す、熱烈な愛の歌。「はかない幻」踊り子であり自分の娘でもあるサロメへの不義の愛情を持ってしまったヘロデ王の情熱的な叫びと葛藤を描いたアリア。

8. 石井 里和 (京都市立芸術大学4年) / ヴァイオリン

京都市立京都堀川音楽高等学校卒業。第8回みおつくし音楽祭大阪クラシックコンクール大学生部門第1位、大阪市長賞。第22回大阪国際音楽コンクールAge-U 第3位。第15回ベートン音楽コンクール大学・院生A 第2位。これまでに西和田ゆう、杉江洋子、泉原隆志、植村菜穂、野口千代光、四方恭子の各氏に師事。



イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ ニ短調 作品 27-3「バラード」

ベルギーの作曲家、ヴァイオリニストであるウジェーヌ・イザイはJ.Sバッハの『無伴奏ヴァイオリンソナタ』を聴いて『無伴奏ヴァイオリンソナタ』の作曲を決意した。全6曲それぞれが親交のある6人のヴァイオリニストに献呈され、第3番「バラード」はジョルジュ・エネスクに献呈された。ゆるやかなテンポで始まり、即興的なフレーズと共に、多彩な表現で、幻想的で情熱的に歌い上げ、ヴァイオリンの機能を知り尽くした技巧的な効果が駆使されている。

9. 上野 菜々 (愛知県立芸術大学4年) / 作曲

福岡女学院高等学校音楽科ピアノ専攻入学、作曲専攻卒業。現在は愛知県立芸術大学音楽学部音楽科作曲専攻作曲コース4年に在籍。これまでに作曲を吉田峰明、山本裕之、ピアノを横川真理子に師事。



上野菜々：《Trypoloop》 ピアノ：山田 ありあ(愛知県立芸術大学4年)

シンプルとは、簡素さや単純さを表した言葉である。「ひとつの音」を追求することは、音楽において非常にシンプルなことである。この曲は、「ひとつの音」を、過剰に繰り返して聴くというアイデアから書かれた。錯覚を起こすときのように、シンプルなものが数多く配置されることによって、人の認知が歪んでしまうことがある。「ひとつの音」が過剰に並べられた時もまた、認知の歪みに近い効果を得られないかと考えた。「ひとつの音」として冒頭に提示された1音程が繰り返されるうち、聴き手はその簡素な1音程が「ひとつ」には聴こえなくなり、徐々に音の内部構造を聴こうとするのではないだろうか。曲に用いられるシンプルな要素は徐々に増えていく。最初に提示された「ひとつの音」の内部構造が感じられるようになっていたならば、要素が増える事で、一曲の情報量もまた過剰になるはずだ。タイトルは集合体を意味するギリシャ語「Trypo」に繰り返しの構造を意味する「loop」を組み合わせた造語である。

10. 中島 美音 (相愛大学4年) / サクソフォン

相愛大学音楽学部4年次在学中。第21回大阪国際音楽コンクール管楽器部門木管Age-U第3位。今までに陣内亜紀子、前田昌宏、岩田瑞和子、白石尚美の各氏に師事。ミ・ベモルサクソフォンアンサンブルメンバー。



イベール：アルト・サクソフォーンと11の楽器のための室内小協奏曲より 第2楽章 ピアノ：沖永 紗織(相愛大学専属ピアニスト)

この曲は、イベールがドイツ生まれのサクソフォン奏者、ラッシャーのために書き下ろした。イベールは、それまでサクソフォンのための曲を作ったことがなかったため、クラシカル・サクソフォンの立ち位置を確立した人物である、マルセル・ミュールにアドバイスをもらいながら曲を完成させたと言われている。さまざまに変化するサクソフォンの音色をお楽しみいただきたい。

… 休憩 …

11. 高橋 喜仁 (愛知県立芸術大学4年) / トロンボーン

1998年、茨城県水戸市出身。茨城工業高等専門学校電気電子システム工学科を経て、現在、愛知県立芸術大学4年に在学中。第6回K金管楽器コンクール第2位。第5回名古屋トロンボーンコンペティション一般ソロ部門第1位。令和3年度愛知県立芸術大学優秀学生賞。これまでに木村達也、渡邊善行、倉田寛各氏に師事。



グレンダール：トロンボーン協奏曲より 第1、3楽章 ピアノ：関口 詩織(愛知県立芸術大学大学院博士前期課程2年)

ラウニ・グレンダール(1886-1960)はデンマークの作曲家、ヴァイオリニスト、指揮者。1925年に設立されたデンマーク放送交響楽団の初代指揮者を務めた。「トロンボーン協奏曲」は、友人であったコペンハーゲンの王立管弦楽団のトロンボーン奏者、ヴィルヘルム・オールクローのために作曲された。

まつ だ あん な
12. 松田 晏菜 (武蔵野音楽大学4年) / ソプラノ

第10回東京国際声楽コンクール 大学生部門 東日本准本選1位通過金賞。第75回全日本学生音楽コンクール 声楽部門 大学の部 東京大会 本選入選 奨励賞 受賞。小劇場オペラ《出雲阿国》福井公演(作曲/永井秀和・台本/角直之)にピアニストとして出演。これまでに、声楽を田口久仁子、バーバラ・ボニー、作曲を名田綾子の各氏に師事。



トマ：歌劇《ハムレット》より オフィーリアの狂乱の場 ピアノ：織井 香衣(武蔵野音楽大学卒業)

原作は大変有名なシェイクスピアの『ハムレット』。絵画や、バレエなど、様々な芸術家にインスピレーションを与えたこの作品は、A.トマによりオペラ化された。恋人であるハムレットが自分の父を殺したと知り、気が狂ったオフェーリアが死の直前に歌うアリア。コロラトゥーラソプラノの魅力である超絶技巧はもちろん、悲しみを表す美しいバラードも聴きどころです。

た なか り な
13. 田中 里奈 (桐朋学園大学2年) / ヴァイオリン

4歳からヴァイオリンを始める。第7回横浜国際音楽コンクール第1位など受賞歴多数。2021年度桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)卒業、卒業演奏会に出演。これまでにヴァイオリンを徳永二男、佐々木歩の各氏に師事。2020.2021年度宗次エンジェル基金日本演奏連盟奨学生。現在、桐朋学園大学音楽学部2年に特待生として在学中。



サン=サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ 作品 28 ピアノ：望月 晶(桐朋学園大学大学院1年)

スペイン出身のヴァイオリニスト、パブロ・デ・サラサーテのために作曲されました。ゆったりとした2拍子の穏やかでメランコリックな序奏から始まり、その後スペイン風の情熱的なロンドへ続きます。カプリチオーソは「気まぐれ」という意味で、様々な表情の変化が魅力的です。最後は鮮やかなアルペジオできらびやかに締め括られます。

わた なべ まさ と
14. 渡邊 晟人 (東京藝術大学4年) / ピアノ

秋田県生まれ。これまでにビティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会E級銀賞、F級金賞、G級入選、Pre特級入選。全日本学生音楽コンクールピアノ部門東京大会中学生の部第2位、高校の部第2位。2020年藝大クラヴィア賞、2021年藝大奏楽堂にてモーニング・コンサートに出演。伊藤恵氏に師事。



ラヴェル：《夜のガスパール》より 「スカルボ」

フランスの詩人ベルトランの遺作『夜のガスパール』から着想を得たラヴェルは、うち三篇を題材に作曲した。本作品は「オンディーヌ」「絞首台」から続く3曲目である。「スカルボ」それは部屋じゅうを飛び回る小悪魔。いきなり空間いっぱいに大きくなり迫ってきたと思えば、今度はこつぜん姿を消し、わたしたちを翻弄する。

Vol.2 2023年 3.12 |日| 15:00開演

1. 塩澤 真輝 (東京藝術大学3年) / オルガン

2002年茅ヶ崎市生まれ。幼少から通う教会の電子オルガンに魅了され、9歳からオルガンを始める。これまでにオルガンを今井奈緒子、廣江理枝、チェンパロを廣澤麻美、通奏低音を椎名雄一郎、オルガン即興演奏を近藤岳の各氏に師事。茅ヶ崎聖契キリスト教会、筑波学園教会オルガニスト。日本オルガニスト協会学生会員。



フローベルガー：ウト・レ・ミ・ファ・ソル・ラによるファンタジア FbWV 201

ヘクサコルドをもとに変奏曲とフーガを組み合わせたような作品である。国際的に活躍していたフローベルガーによる唯一生前に出版された作品であり、模範的な複音楽として後世の作曲家たちに大きな影響を与えた。また、この頃の作品は古典調律によってその色彩はより鮮やかになる。本日は当時の調律法を参考にして演奏する。

2. 柳 直友子 (京都市立芸術大学4年) / メゾソプラノ

兵庫県神戸市出身。甲南女子中学高等学校卒業。6歳より、草間純子氏のもとでピアノを初め、中学でコーラス部に所属したことをきっかけに声楽を学ぶ。第36回兵庫県独唱独奏コンクール銀賞。これまでに声楽を浅井順子氏に師事。大学入学後は、福原寿美枝氏に師事。



サン＝サーンス：歌劇《サムソンとデリラ》より「愛の神よ、私を助けにきておくれ」、「あなたの声に私の心は開く」

ピアノ：小西 聖香(京都市立芸術大学4年)

「愛の神よ、私を助けにきておくれ」は、サムソンが必ず私のもとへやってくる、と確信して「彼が明日鎖に繋がれますように」と、サムソンへの復讐と彼を呼び寄せようとする情熱が歌われている。「あなたの声に私の心は開く」は、デリラの元にやってきたサムソンをデリラは熱い愛と抱擁で迎え入れ、サムソンの力の秘密を聞き出そうとする。官能的でうっとりするような旋律が特徴である。

3. 樋口 亮太 (大阪音楽大学4年) / バリトン

第1回国際声楽コンクール東京準本選第1位、本選入選。第6回豊中コンクール大学・一般の部第3位。これまで声楽を田中勉に師事。



R. シュトラウス：万霊節 作品 10-8

ロッシーニ：歌劇《セビリアの理髪師》より「私は町の何でも屋」

ピアノ：小山 朋佳(大阪音楽大学4年)

「万霊節」R.シュトラウスの歌曲の中でも人気のある作品で、年に1回死者を想うカトリックの祭日に逝った恋人への想いを語り、音楽は大らかなフレーズでロマンティックである。「私は町の何でも屋」ロッシーニ作曲のオペラ《セビリアの理髪師》で理髪師のフィガロが登場する場面のアリアである。早口でまくしたてる歌唱はオペラアリアの中でも人気が高い。

いしかわ み お
4. 石川 未央 (桐朋学園大学3年) / ヴァイオリン

第67回全日本学生音楽コンクール大阪大会 小学校の部 第1位。第69回全日本学生音楽コンクール 中学校の部 全国大会 第2位。2019年第9回ノヴォシビルスク国際ヴァイオリンコンクール シニア部門 第2位。その他多数受賞。現在、辰巳明子氏に師事。2022年度より、副専攻ピアノ科に合格し、清水和音氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部特待生。サントリーホール室内楽アカデミー7期フェロー。



サラサーテ：バスク奇想曲 作品 24 ピアノ：坂口 由侑(桐朋学園大学3年)

ヴァイオリニストで作曲家でもある、パブロ・デ・サラサーテは、1844年スペインのバスク地域に生まれました。今日演奏する曲は、バスク独特の「ソルツィーコ」と呼ばれるダンスの独特のリズムを取り入れたり、バスク風の旋律をちりばめたりしてあり、「バスク」を音楽で味わうことのできる曲です。

さか た あゆみ
5. 坂田 歩 (沖縄県立芸術大学4年) / ピアノ

4歳からピアノを始める。第53回琉球新報音楽コンクール ピアノ部門 一般の部 第1位ならびに特賞受賞、三木楽器開成館にて「開成館サロンコンサート」でソロリサイトを開催、他、兵庫県立西宮高等学校音楽科卒業。これまでに、岡田裕子、河内仁志の各氏に師事。現在は小杉裕一氏に師事。



バラキレフ：東洋風幻想曲「イスラメイ」

コーカサス地方の旅行中、トルコ・イスラム系諸民族の民族音楽に接したバラキレフは、その音楽をもとに作曲を行った。その中で1869年に作られたのが「イスラメイ」です。「イスラメイ」とは、カバルディノ地方、アデュイゲイ地方の民族舞曲であり、8分の6拍子風のリズムで速いテンポの楽曲です。3部形式で構成されており、2つの主題が何度も形を変えて展開され、最後のコーダでは非常に華やかに曲を締めくくります。

… 休憩 …

わた なべ りく
6. 渡邊 陸 (国立音楽大学4年) / 作曲

2000年岡山県生まれ。これまでに作曲を米倉由起、森垣桂一、作曲理論を米倉由起、石井祐輔、市川景之、奥定美和の各氏に師事。作品は、国立音楽大学作曲作品展や国際マスタークラスなどで初演された。



渡邊 陸：『Lucid Dream』(抜粋)

この作品は、人が睡眠中に見る夢から着想を受けた作品である。本作品のタイトルである『Lucid Dream』とは、明晰夢と呼ばれる夢を指す言葉であり、この明晰夢は、睡眠中に自分が夢をみていることがわかっていること、特に夢をみながらその内容を自分で意図的につくり出すことができる状態のことを指す。本作品では、睡眠の過程で現れる特徴的な睡眠の状態を要素として抜き出し、それを音楽に置き換え、それらを睡眠のプロセスに沿って再構成した作品である。全体は7つのセクションに分かれており、最初のセクションは入眠時の半覚醒状態である。第2セクション以降は、浅い睡眠である「レム睡眠」と深い睡眠である「ノンレム睡眠」をイメージしたセクションが交互に繰り返される。その後、第6セクションにおいて明晰夢をイメージした音楽が展開され、第7セクションにおいて覚醒をしていく、という夢の追体験のような構成をとっている。

まつ かげ
7. 松蔭 ひかり (相愛大学4年) / チェロ

第18回泉の森ジュニアチェロコンクール金賞受賞。第72回全日本学生音楽コンクール名古屋大会、全国大会第1位。これまでに、後藤敏子、林俊昭、夏秋彩の各氏に、現在上森祥平、斎藤建寛、山崎伸子の各氏に師事。相愛大学音楽学部特別奨学生。



ヒンデミット：無伴奏チェロソナタ 作品 25-3

20世紀、世界中が戦争などで混乱に陥り、それは音楽にも大きな影響を与えました。1895年ドイツに生まれたヒンデミットもその影響を受けた1人です。今回演奏するソナタは5楽章からなり、3楽章以外は拍子もちません。調性もありませんが、ハーモニーやリズムがこの曲の魅力で、力強さや儚さなどいろんなものが表現されています。

たに もえ か
8. 谷 萌香 (同志社女子大学3年) / サクソフォン

第6回あおによし音楽コンクール第1位。第20回大阪国際音楽コンクール管楽器部門第1位、アルソ賞受賞。第29回日本クラシック音楽コンクール全国大会サクソフォン部門最上位。第8回Kサクソフォンコンクール第1位。第25回姫路パルナソス音楽コンクール第3位。これまで、岩田瑞和子、福田亨の各氏に師事。



マッキー：ソプラノ・サクソとウインド・アンサンブルのための協奏曲 より ピアノ：平井 令奈

アメリカ出身の作曲家であるジョン・マッキー(John Mackey 1973-)によって2007年に作曲された。この曲は全5楽章から成り立つ。彼にとってサクソフォンは一種のハイブリッド楽器であり、フェルト、メタル(金属)、ウッド(木)と呼ばれる楽章と、複数の楽章からなる作品を作ろうと考えられた。細やかなパッセージと様々なサクソフォンの超絶技巧をお楽しみ頂きたい。

かめしま れいら
9. 亀島 侘来 (沖縄県立芸術大学4年) / フルート

沖縄県出身。11歳よりフルートを始める。第48回(中学校の部)、第49回(高校の部)新報音楽コンクール管打部門第1位。平成28年度グローバルリーダー育成海外短期研修事業 音楽部門 でオーストラリアに派遣。これまでにフルートを神里多希、若林かをり、荒川洋、飯島諒の各氏に師事。2020年11月～那覇ジュニアオーケストラ講師。



タファネル：ミニョンの主題によるグランド・ファンタジー ピアノ：坂田 歩(沖縄県立芸術大学4年)

ポール・タファネル(1844-1908)は、フランスのフルート奏者で作曲家である。また、指揮者、教育の面でも活躍した。この曲は、1874年に発表されたタファネルの初めての出版作品で、フランスの作曲家トマが書いたオペラ《ミニョン》から主題を取り、フルートをオペラの主役に見立てて書かれている。ヴァイオリンの小品として有名な「ミニョンのガボット」やボロネーズ風アリア「私はティタニア」などの旋律を用いて変奏されていく。

ふじい こたろう
10. 藤井 虹太郎 (京都市立芸術大学4年) / トランペット

第25回松方ホール音楽賞受賞。第90回日本音楽コンクール第1位、及び岩谷賞、瀬木賞、E・ナカミチ賞受賞。京都市文化芸術みらい賞受賞。岡山文化芸術賞グランプリ受賞。NHK-FM「リサイタル・パッション」に出演。第168回京都市立芸術大学定期演奏会にソリストとして出演。現在、N響アカデミーに在籍中。



エネスコ：レジェンド ピアノ：佐渡 春菜(京都市立芸術大学非常勤講師)

ジョルジュ・エネスクはルーマニアの音楽家である。この曲は1906年にメリ・フランカンにより初演、献呈された。古典的であったトランペットが半音階を演奏できるようになる歴史の変遷を跡付ける重要な作品のひとつだ。繊細な旋律と技巧的なパッセージがどちらも含まれており、トランペットの楽曲では非常に親しまれている楽曲のひとつである。

… 休憩 …

まつ たに そう いちろう
11. 松谷 壮一郎 (東京芸術大学3年) / チェロ

福井県出身。第75回全日本学生音楽コンクールチェロ部門大学の部東京大会第2位、全国大会第2位並びに横浜市民賞など受賞多数。セントラル愛知交響楽団とハイドン:チェロ協奏曲を共演。サントリー室内楽アカデミー第7期フェロー。小澤征爾音楽塾に参加。中木健二氏に師事。



シューベルト：アルペジョーネとピアノのためのソナタ イ短調 D 821 より 第1楽章

ピアノ：吉武 優(桐朋学園大学、東京芸術大学非常勤講師)

本日演奏するアルペジョーネとピアノのためのソナタは弦楽四重奏曲「死と乙女」と同時期に作曲され、シューベルト自身が不治の病にかかり精神的にも衰弱していった頃の作品です。「歌曲の王」と称されるようにこの曲もメロディと伴奏という歌曲の方式で作られています。メロディやピアノとチェロとの音形の交わりをお楽しみください。

と ろ す な な ほ
12. 都呂須 七歩 (京都市立芸術大学4年) / ヴァイオリン

第22回大阪国際音楽コンクールAge-U 第2位。第15回バーテン音楽コンクール大学・院生の部第1位。受賞者記念演奏会にて東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団と共演。ウィーンナームジークセミナー2022に助成を受けて参加し、ディプロマを取得。これまでに樋口育世、池川章子、四方恭子の各氏に師事。



イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ ホ短調 作品 27-4 より 1-Allemande 3-Finale

ウジェーヌ・イザイ(1858~1931)の《無伴奏ヴァイオリン・ソナタ》は、J.S.バッハの《無伴奏ヴァイオリン・ソナタとパルティータ》に影響を受けて生み出された。全6曲それぞれが、当時活躍していた6人のヴァイオリニストに捧げられている。この第4番は、フリッツ・クライスラーに献呈されており、第3楽章ではクライスラーのヴィルトゥオーゾ曲のように16分音符が続く技巧が取り入れられている。

わ だ も も こ
13. 和田 桃子 (桐朋学園大学4年) / フルート

仙台フルートコンクール一般部門入選。かながわ音楽コンクール神奈川新聞社賞。2022年小澤征爾音楽塾「子どものための音楽会」に参加。これまでに、フルートを出口清子、野原千代、大友太郎、神田寛明、泉真由の各氏に師事。芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウィンド第8期生。



ドゥメルスマン：《オベロン》の主題によるグランドファンタジー 作品 52 ピアノ：染谷 夏音(桐朋学園大学3年)

ドゥメルスマン(1833-1866)はフランスで活躍したフルーティストでありました。巧みな演奏から、フルートのサラサーテとも呼ばれた彼の作品では、その技術の高さが見てとれます。この曲は、ウェーバーのオペラの主題をもとに展開されます。美しいアリアがフルートによって、華やかに彩られていくさまをお楽しみ下さい。

き た む ら
14. 北村 あおい (京都市立芸術大学4年) / ソプラノ

京都府京都市出身。京都市立紫野高等学校普通科卒業。京都市少年合唱団に入団したことをきっかけに歌うことに興味を持ち、16歳から声楽を始める。第31回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。第23回大阪国際音楽コンクール声楽部門歌曲コースAge-U 第3位。声楽を日紫喜恵美氏に師事。



ハイドン：オラトリオ《天地創造》より「力強い翼を広げて」
メンデルスゾーン：12の歌 作品8より「もう一つの五月の歌」

ピアノ：中森 瑞貴(京都市立芸術大学4年)

《天地創造》は晩年のハイドンの代表作。神によって天地が創造される7日間の過程が描かれる。この曲は5日目にあたり、天使ガブリエルが空と海の生物の創造を告げ、鳥たちの生き生きした姿を歌う。「もう一つの五月の歌」は春になり魔女たちが胸を躍らせて舞踏会へ出かける様子が、轟くピアノと早口の歌で表現されている。

さ か ぐ ち ゆ う
15. 坂口 由侑 (桐朋学園大学3年) / ピアノ

桐朋学園大学付属子供のための音楽教室を経て、桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を卒業。桐朋学園大学音楽学部特待生。第10回桐朋ピアノ・コンペティション第1位。第91回日本音楽コンクール第1位。これまでに清水美左子氏に師事。現在、朴久玲氏に師事。



プロコフィエフ：ピアノソナタ 第3番 イ短調 作品 28

Allegro tempestosoで4分の4拍子の単一楽章の作品である。ソナタ形式ではあるものの、再現部では主題が現れず推移部のみが採用されている。この作品には「古い手帳(ノート)から」という副題がついており、1907年につくった草稿を1917年に改作してつくられた。主題には手をつけず、全体に対位的・多調的処理がなされた。

Vol.3 2023年 3.19 |日| 15:00開演

1. ^{みなと}湊 あゆみ (東京藝術大学3年) / ハープ

神戸市出身。ポーランド国際音楽コンクールOPUS2022ハープ部門第2位。第23回大阪国際音楽コンクールハープ部門エスポワール賞、第7回K弦楽器コンクール動画部門第1位受賞等。2022年7月ウェールズでのWorldHarpCongressにて演奏。ハープを摩寿意英子、福井麻衣、高野麗音の各氏に師事。



ワルター=キューネ：チャイコフスキーの歌劇《エフゲニー・オネーギン》の主題による幻想曲

「エフゲニー・オネーギンの主題による幻想曲」は、チャイコフスキーの歌劇「エフゲニー・オネーギン」の主題を元としてロシアの女流ハープ奏者ワルター=キューネにより1909年に作曲されました。オペラ自体は悲劇ですが、この曲はオペラ中の舞踏会のワルツの主題が何度も繰り返され、美しく華やかに構成されています。

2. ^{はる た たかし}春田 傑 (東京藝術大学4年) / クラリネット

香川県立坂出高等学校音楽科卒業。モーニングコンサートにて藝大フィルハーモニア管弦楽団とモーツァルトのクラリネット協奏曲を共演。これまでに山崎盾之、山本正治、伊藤圭、三界秀実、野田祐介の各氏に師事。宮田亮平奨学金受賞。ぱんだウインドオーケストラコアマメンバー。



ガロワ=モンブラン：演奏会用小品 ピアノ：小澤 佳永(ピアニスト)

R.ガロワ=モンブラン(1918-1994)はフランスのヴァイオリン奏者、作曲家、音楽教育者である。この曲はオーギュスト・ペリエのために作曲され、クラリネットの新たな可能性を広げた。クラリネットの独奏から始まり、ガロワ=モンブラン独特な和声と様々なクラリネットの音色を堪能していただきたい。

3. ^{くわ ばら こう た ろう}桑原 孝太郎 (東京藝術大学3年) / コントラバス

第27回日本クラシック音楽コンクール第2位(最高位)、第15回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト第1位及び文部科学大臣賞等受賞。またピアノでは第32回JPTAピアノ・オーディション全国大会優秀賞及び全国優秀者演奏会出演。これまでにコントラバスを赤木昌二、吉田秀、池松宏、西山真二、石川滋の各氏に師事。



グリエール：コントラバスとピアノのための2つの小品 作品9 ピアノ：塩崎 基央(東京音楽大学2年)

ウクライナ生まれの作曲家グリエールがロシアのコントラバス奏者であるクーセヴィツキーのために書いた作品である。1曲目の間奏曲は静寂の中に抒情的な調べが魅惑的な曲、2曲目のタランテラはコントラバスの超絶技巧曲でテンポが速く、左手が指板の上を走り回るように見える曲。重厚な低音と美しい旋律をお楽しみください。

なが い き ぼう 4. 永井 希望 (東京藝術大学4年) / ピアノ

2000年9月生まれ。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。5歳からピアノを学び始め、これまでピアノを小田裕之、佐々木恵子、金子勝子、鈴木弘尚を始めとする各氏に、ソルフェージュを佐々木邦雄氏に師事。現在、ピアノを有森博氏に師事。



シューベルト：3つのピアノ曲 D 946 より 第2番 変ホ長調

※演奏者のお考えを尊重し、コメントの掲載を見送らせていただきます。

かし わら みやび 5. 柏原 雅 (東京藝術大学2年) / ソプラノ

第73回全日本学生音楽コンクール 声楽部門 大阪大会第3位、翌年の同コンクールにて大阪大会第1位、更に全国大会第1位。第93回選抜高校野球開会式にて国歌独唱。佐々木成子賞、ANA賞、横浜市民賞等を多数受賞。声楽を飯山友子、納多正明、菅英三子 各氏に師事。



モーツァルト：すみれ

クローエに寄す

歌劇《アルバのアスカニオ》より「お前の枝の木陰を地上の人は待っている」

ピアノ：稲山 莉乃碧(京都市立芸術大学2年)

「すみれ」では、恋する男性を牧草地に咲く一本のすみれに例え少女への恋を歌います。「クローエに」は、青少年による女性への恋を若々しく上品に歌いあげる曲です。「お前の枝の木陰を地上の人は待っている」では、女神が自身の息子を樹木に例え「地上を統治するのはあなたがふさわしい」と説明する歌です。

… 休憩 …

なか じま ゆう き 6. 中島 悠暉 (東京藝術大学4年) / 長唄三味線

平成13年3月4日、東京生まれ。幼少より長唄を祖父今藤尚之、長唄三味線を父今藤長龍郎に学び、二歳で長唄「飴屋の笛」にて初舞台。2020年秋に今藤流四世家元今藤長十郎より今藤龍十郎の名を許される。第34回市川市新人演奏家コンクール優秀賞受賞。



五世 杵屋勘五郎：春秋

三味線：東音 味見 優 (東京藝術大学大学院邦楽科修士課程2年)

唄：松永 忠之助(東京藝術大学邦楽科卒) 唄：松永 和之助(東京藝術大学邦楽科3年)

『新曲浦島』、『島の千歳』、『多摩川』などを作曲した五代目杵屋勘五郎の作品です。春と秋を対比させて、其々に気分描写的な合方を入れてあります。また唄も唄いどころがある曲です。今回は抜粋して演奏させていただきます。

おく の えでん 7. 奥野 楽 (東京藝術大学4年) / 箏曲生田流

大阪府堺市出身。11歳で箏、16歳で三絃を始める。13歳でフルートを始め大阪府立夕陽丘高等学校音楽科で西洋音楽を学ぶ。平成25年度宮城道雄記念コンクール2位。第7回利根英法記念邦楽コンクール奨励賞。東京藝術大学に於いて宮城賞受賞。これまでに志村智恵子氏、田中佐久子氏、矢崎明子氏に師事。宮城社助教。



宮城道雄：中空砧

「中空砧」は、光崎檢校の「五段砧」をもとに、宮城道雄が新しく作曲した箏独奏曲です。曲の構成は[前弾-第一段-第二段-第三段]で、第二段は平調子、第一段と第三段は中空調子となっており、この調弦名が「中空砧」という曲名にも由来しています。砧の音が秋の夜の中空に響いて聞こえるような、宮城道雄ならではの情景描写が美しい名曲です。

8. ^{かとう あいり}加藤 愛梨 (愛知県立芸術大学4年) / ピアノ

名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業。第71回全日本学生音楽コンクール高校の部名古屋大会入選、第35回愛知ピアノコンクール高校A部門金賞及び中日新聞社賞、第33・38回JPTAピアノオーディション全国大会優秀賞。これまでに樋口久美、定行和子、東誠三、鈴木謙一郎の各氏に師事。



ラフマニノフ：《楽興の時》作品16より 第5番 変ニ長調、第6番 ハ長調

この作品は全6曲で構成されている。今回は第5、6番を演奏する。第5番は全体的に静かであるが、抒情的な旋律が朗々と歌われる。第6番は大海原のようなうねりのある表現が特徴的であり、終曲に相応しく堂々とした雰囲気を持つ。多声的な中間部を経て、再び現れたモチーフはさらに音の厚みを増し、終わりへと向かう。

9. ^{おいかわ りんた}老川 鈴唄 (東京音楽大学3年) / ソプラノ

東京都出身。第73回全日本学生音楽コンクール声楽部門高校の部東京大会・全国大会ともに第1位。第23回日本演奏家コンクール大学の部第1位、朝日新聞社賞。第29回ブルクハルト国際音楽コンクール第3位(最高位)。これまでに、東京音楽大学給費奨学金受領。横山恵子女士に師事。



平井 康三郎：うぬぼれ鏡

モーツァルト：アリア「岸辺近く願いぬ」K.368

ピアノ：木下 志寿子(新国立劇場コレペティートル)

「うぬぼれ鏡」自分の姿にうぬぼれてうきうきして…いたのは、過去の話。若く美しかった私を覚えていて、と高らかに歌う、大人でチャーミングな女性の歌です。コンサートアリア「岸辺近く願いぬ」密かに愛する人と結婚していたところに政略結婚を言い渡され、さらに新たな悲劇が起きてしまい、激しく嘆く王子の歌です。

10. ^{むらた しょうへい}村田 尚平 (京都市立芸術大学4年) / トランペット

大阪府出身。第12回関西トランペット協会コンクール課題曲部門第3位、オケスタ部門第2位(1位なし)。第13回関西トランペット協会コンクール課題曲部門第2位。トランペットを福田裕司、菊本和昭、早坂宏明、辻本憲一、野口浩史、横田健徳の各氏に師事。



ズーターマイスター：演奏会用ガヴォット ピアノ：宇賀治 晴香(京都市立芸術大学4年)

スイス北部のフォイヤーターレンに生まれたズーターマイスター(1910~1995)は、バーゼルとパリで学んだ後にミュンヘン音楽アカデミーでワルター・クルヴォワジェ、カール・オルフに教えを受けた。1963年から1975年までは、ハノーファー音楽大学で作曲の教鞭を取っていた。新古典主義的な音楽潮流の反映が如実に見て取れる作風は、1950年に書かれたこの曲にも当てはまる。

… 休憩 …

11. ^{まし こ あおい}益子 葵 (東京藝術大学3年) / テノール

千葉県船橋市出身。千葉県立津田沼高校音楽コース卒業。小学4年生よりホルンを始め、高校2年から合唱部に所属し、高校3年より声楽を始める。在学中に令和4年度宮田亮平奨学金受賞。声楽を飯田祥子、樋口達哉各氏に師事。



トスティ：セレナータ

プッチーニ：歌劇《ラ・ボエーム》より「冷たい手を」

ピアノ：榎 和馬(東京藝術大学 作曲科3年)

トスティのセレナータは、愛する女性へ向けてではなく、愛の告白のメッセンジャーとなっている作品です。華やかなピアノから飛び出す透明感のあるメロディをお楽しみください。次に、歌劇《ラ・ボエーム》より「冷たい手を」は、この作品を代表するアリアで、ロドルフォがミミに詩人であることを語り、彼女へ抱く感情を詩にして伝えるアリアです。ロマンチックな演奏をお聴きください。

お お も と か ず し
12. 大本 和司 (相愛大学2年) / ヴァイオリン

第72回全日本学生音楽コンクール大阪大会高校の部第1位。第33回京都芸術祭音楽部門奨励賞。第50回堺市新人演奏会優秀賞。第1回横浜国際ヴァイオリンコンクールF部門第1位。現在、田辺良子氏に師事。西宮市立西宮高校普通科卒業。相愛大学音楽部門特別演奏コース特別奨学生。



バルトーク：無伴奏ヴァイオリンソナタ Sz.117 より 第1楽章 Tempo di ciaccona

バルトーク晩年のアメリカ移住後に書かれた作品。タイトルにある ciaccona は、バッハのシャコンヌを指しており、作品全体を通してバッハへのオマージュが感じられる。またバルトークは数学的要素を作品に多く取り入れたことで知られている。この曲においてもそれを多く見出すことができ、黄金比やフィボナッチ数を発見することができる。

い の う え あ ゆ み
13. 井上 愛弓 (京都市立芸術大学4年) / ピアノ

5歳よりピアノを始める。兵庫県立西宮高等学校音楽科卒業。第4回京都国際音楽コンクール大学生・一般の部銅賞。第28回KOBELCO国際音楽コンクールC部門優秀賞及び神戸市教育委員会賞を受賞。学内選抜により京都市立芸術大学、学内リサイタルに出演。これまで、ピアノを故梅原幸子、山畑誠、城沙織、上野真、岩井理沙、中谷彩花の各氏に師事。



リーバーマン：ガーゴイル 作品 29

この作品はアメリカの作曲家ローウェル・リーバーマン(1961~)が書いた4曲から成る組曲である。ガーゴイルとは、西洋建築における怪物などを模した彫刻である。1曲目は、印象的な3音で曲が始まり、疾走感のある曲想である。2曲目は、憂いを帯びた旋律が展開され、3曲目は流れるような16分音符の上に歌心ある主題が流れる。最後の4曲目は悪魔的に疾走するリズムで支配し、最後は密度を増して華麗に締めくくられる。

ふ し み
14. 伏見 はな (東京藝術大学4年) / サクソフォン

福岡県出身。9歳よりサクソフォンを始める。第18回Jr.サクソフォンコンクール特別賞、第28回日本クラシック音楽コンクール最高位など入賞多数。大学内において安宅賞受賞。これまでに九州交響楽団、東京藝大フィルハーモニア管弦楽団とコンチェルトを共演。これまでにサクソフォンを須川展也、住谷美帆、本堂誠、彦坂真一郎、大石将紀の各氏に師事。



©Ayane Shindo

イベール：アルト・サクソフォンと11の楽器のための室内小協奏曲より 第2楽章 ピアノ：羽石 道代(ピアニスト)

J.イベール(1890-1962)はフランス出身の20世紀前半を代表する作曲家である。この曲は1935年に完成しサクソフォンの代表的な協奏曲の1曲である。楽曲はソナタ形式の1楽章と序奏を伴うロンド形式の2楽章からなる。低音域から高音域まで全てを使った軽快なパッセージや伸びやかなフレーズなどサクソフォンの機動性と音色に注目してお楽しみいただきたい。

し お ぎ き も と ち か
15. 塩崎 基央 (東京音楽大学2年) / ピアノ

東京音楽大学特別特待奨学生。ショパン国際ピアノコンクールinAsia大学生部門アジア大会(ホール審査)金賞、オンラインアジア大会金賞及びソリスト賞。ピティナピアノコンペティションG級全国大会ベスト5賞、Pre特級全国大会聴衆賞。イモラ国際ピアノアワード(イタリア)第2位。



リスト：《巡礼の年 第2年 補遺「ヴェネツィアとナポリ」》S.162/R.10 A197 より「タランテラ」

「タランテラ」とは、イタリアの民族舞踊のことである。毒蜘蛛のタランチュラに噛まれた時、この舞踊を踊ると治るといふ伝説を持っている。非常に技巧的で激しい冒頭部から一変し、優雅なカンツォーネが歌われる中間部が現れる。その後フィナーレに向けて再びタランテラの激しさが戻り、最後はト長調にて劇的なラストを迎える。



公益財団法人青山音楽財団 事業内容

主催公演事業

国内外から優れた演奏家を迎え、クラシック音楽発信の場として演奏会を行っています。
室内楽専用に設計された音響を持つ200席の空間で、贅沢なひとときをお楽しみください。

青山音楽賞

毎年1月から12月までの期間中、バロックザールで開催し、かつエントリー条件を満たした公演の中から選考し、「新人賞」「青山賞」「バロックザール賞」の三部門で、演奏家の成長と芸術性の向上への期待を込めて「青山音楽賞」を授与しています。

新人助成公演・助成公演

演奏家の活動支援の一環として、ホール使用料の減免など演奏会の費用助成を行っています。

育成支援事業

音楽を学ぶ学生たちや団体によりよい環境づくりの支援をしています。

- ・学校等支援事業…大型楽器や楽譜の購入、マスタークラスの開催などに活用されています。
- ・奨学金事業…音楽大学または音楽学部で学ぶ優秀な学生へ奨学金の給付を行っています。

公益財団法人青山音楽財団は、広く音楽活動の普及と発展に寄与しています。詳しくはホームページをご覧ください。
www.aoyama-music-foundation.or.jp